※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

飲酒運転交通事故の発生状況

令和4年中

1　発生状況

令和４年中の飲酒運転交通事故（原付以上の人身事故）は、前年と比較して、発生件数は約１割減少し、負傷者数は微増となりました。

また、死亡事故は１件１人（前年比－３件－３人）発生しました。

【飲酒運転交通事故の発生状況】　（令和４年中）

区分		発生件数	死亡事故		負傷者数		
			件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年		33	1	1	6	44	50
前年		37	4	4	4	45	49
増減	数	−4	−3	−3	2	−1	1
	率	−10.8	−75.0	−75.0	50.0	−2.2	2.0

2　市区町村別発生状況（令和４年中）

市区町村別の発生状況は、発生地別では宮城野区が５件で最も多く、次いで、青葉区が４件と多くなりました。

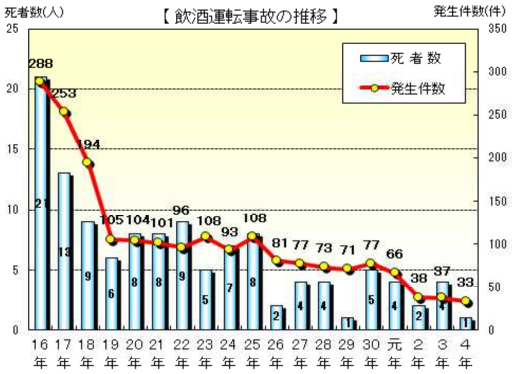
また、第１当事者の居住地別では泉区が６件で最も多くなりました。

発生地				
市区町村名		件数	前年比	構成率
仙台市	青葉区	4	0	12.1
	宮城野区	5	2	15.2
	若林区	3	0	9.1
	太白区	2	−5	6.1
	泉区	3	3	9.1
石巻市		3	0	9.1
塩竈市		1	1	3.0
気仙沼市			0	0.0
白石市			0	0.0
名取市			0	0.0
角田市		2	2	6.1
多賀城市			−2	0.0
岩沼市		1	1	3.0
登米市		1	1	3.0
栗原市			−1	0.0
東松島市			0	0.0
大崎市			−4	0.0
富谷市		2	2	6.1
蔵王町		1	1	3.0
七ヶ宿町			0	0.0
大河原町			0	0.0
村田町		1	−1	3.0
柴田町		1	1	3.0
川崎町			0	0.0
丸森町			0	0.0
亘理町			0	0.0
山元町			0	0.0
松島町			0	0.0
七ヶ浜町			−1	0.0
利府町			−1	0.0
大和町		1	−1	3.0
大郷町			−1	0.0
大衡村			0	0.0
色麻町		1	1	3.0
加美町			−1	0.0
涌谷町		1	1	3.0
美里町			0	0.0
女川町			0	0.0
南三陸町			0	0.0
高速等			−2	0.0
計		33	−4	100.0

第1当事者居住地				
市区町村名		件数	前年比	構成率
仙台市	青葉区	2	−2	6.1
	宮城野区	5	1	15.2
	若林区	3	1	9.1
	太白区	2	−3	6.1
	泉区	6	3	18.2
石巻市		3	0	9.1
塩竈市		1	0	3.0
気仙沼市			0	0.0
白石市		1	1	3.0
名取市			−4	0.0
角田市		1	1	3.0
多賀城市			−1	0.0
岩沼市			−1	0.0
登米市		1	1	3.0
栗原市			0	0.0
東松島市			0	0.0
大崎市		2	−2	6.1
富谷市			0	0.0
蔵王町			0	0.0
七ヶ宿町			0	0.0
大河原町			0	0.0
村田町		1	0	3.0
柴田町			0	0.0
川崎町			−1	0.0
丸森町			0	0.0
亘理町		1	1	3.0
山元町			0	0.0
松島町			0	0.0
七ヶ浜町			0	0.0
利府町			0	0.0
大和町		1	1	3.0
大郷町			−1	0.0
大衡村			0	0.0
色麻町			0	0.0
加美町		1	1	3.0
涌谷町		1	1	3.0
美里町			0	0.0
女川町			0	0.0
南三陸町			0	0.0
県外等		1	−1	3.0
計		33	−4	100.0

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

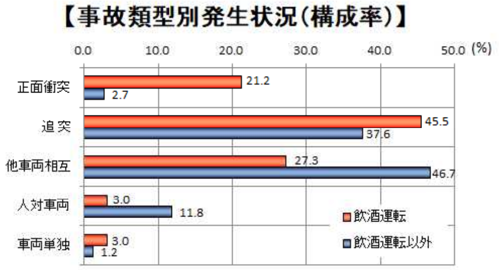
3　発生推移（基礎データ平成16年～令和４年）



飲酒運転事故の発生推移を見ると、発生件数、死者数ともに平成19年までは大幅な減少傾向にありましたが、平成20年以降は減少率が鈍化しほぼ横ばいで推移し、平成26年からは、発生件数100件未満、死者数５人以下で推移しており、令和４年は前年比で発生件数、死者数ともに減少しました。

4　発生特徴等（基礎データ令和４年中）

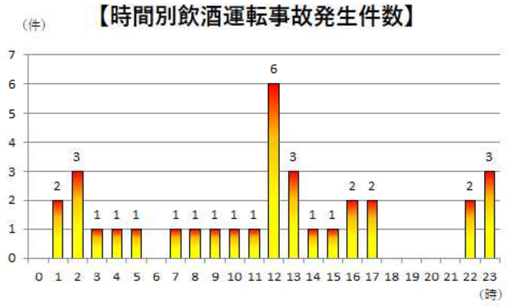
(1)　追突事故の発生が多い



事故類型別では、追突が最多で約半数（33件中15件。45.5%）を占めました。

また、正面衝突の構成率（33件中７件。21.2%）が、飲酒運転以外（4,084件中109件。2.7%）と比較して高くなりました。

(2)　昼間の発生が多い

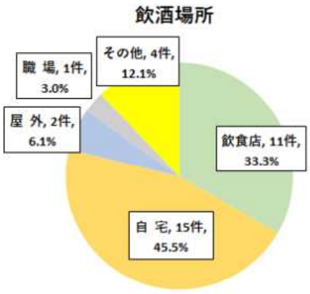


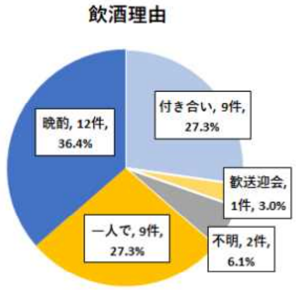
時間別では、12時台の発生が６件で最も多く、昼夜別（日の出、日の入り時刻を基準）では昼間の発生が約６割（33件中20件。60.6%）と多くなりました。

(3)　自宅での飲酒が多い

飲酒場所別では、自宅が最多で約半数（33件中15件。45.5%）を占めました。

また、飲酒理由については、晩酌（33件中12件。36.4%）が最も多くなりました。





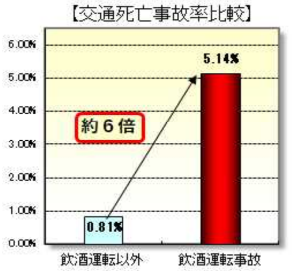
(4)　40歳代の飲酒運転者が多い

第１当事者（飲酒運転者）の年代別では、40歳代（８人）が最多となり、次いで50歳代、60歳代（各７人）が多くなりました。

※高齢者は65歳以上

年　代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	計	うち高齢者
人　数		3	5	8	7	7	3		33	4
構成率	0.0	9.1	15.2	24.2	21.2	21.2	9.1	0.0	－	12.1
うち死亡事故			1						1	

(5)　飲酒運転事故は死亡事故率が高い（基礎データ平成25年～令和４年）

飲酒運転事故の死亡事故率（事故件数に占める死亡事故件数の割合）について見ると、飲酒運転以外と比較して、死亡事故率が約６倍に達しており、飲酒運転は死に至る危険性が極めて高いことが分かります。

区　分	A 発生件数	B 死亡事故件数	B÷A 死亡事故率	死亡事故率 倍　率
飲酒運転以外	67,813	551	0.81	6.3
飲酒運転事故	661	34	5.14